

税理士の ひとりごと

No. 148

てっぺんを目指さない

税理士 齋藤明

2週間、電波もろくに届かないような場所に行くとして、なぜそれを私は「恐ろしい」とか「チャレンジングな行為だ」とか思ってしまうのでしょうか？ それこそ先日私は2週間インドネシアの島々を廻る船上でタップリ時間があったので、そのことについて考えてみたのです。

ひと言で言えば、私は仕事や家族に恵まれているという自覚があり、それを失うことに恐怖心を抱いているのだという事に気が付きました。確かに、「調子に乗って、家庭や仕事をないがしろにしている」と、家族や職場の皆や顧問先から三行半を突き付けられたら…なんてことを想像すると、小心者の私の心臓の鼓動は少しだけ早くなってしまうのです。

ところが、あらためて今回の旅の同行者の話を聞いてみると、この2週間のボートトリップの前後にさらにバリ島やスンバワ島に滞在し、約1ヵ月日

本を留守にしているメンバーが数名いるのです。その方々は私の会計事務所などとは比較にならない規模の事業をお持ちで、まだ小さいお子さんもいるご家族をお持ちであつたりもします。

船上では、サーフィンをして、食事をして、寝ること以外何もすることがないので、メンバーと話をする時間が山ほどあります。そこで私は彼らに素朴な疑問を投げかけてみました。「仕事や家庭は大丈夫なんですか？」と。すると、意外な回答が返ってきました。「大丈夫じゃないかもしれないけど、心配ばかりしてたら何もできなくなっちゃうじゃありませんか」と。

ああ、なんとということでしょう。私は普段からここのエッセイや自身のブログなどで「諸行無常」などと書いておきながら、今私の手元にある幸せや恵まれた環境に恋々と執着して行動を起こすことを躊躇っていたんだなんて。私はその本質的な、この世のすべての

ものは常に変化し永遠に続くものはない、ということを理解しないまま、分かったようなことを書いていたのです。期せずして、私の書く文章の底の浅さを露呈する結果となってしまったのですが、一点だけ私にも「救い」があります。それは、私が座右の銘としていえる言葉が「知足（みずからの分をわかまえて、それ以上のものを求めないこと）」であるということ。

田辺聖子さんのエッセイに「てっぺん」という作品があり、そこには、例えばサラリーマンであれば、社長や重役のような「てっぺん」を目指す生き方をしていると人生において大事なものを置き忘れるということが起こりがちだから、山の麓や三合目で人生を楽しむような生き方も良いのではないか、ということが書かれているのですが、まさに私が税理士会内で目指しているのが、決して税理士会内での出世などを望まず、山の三合目あたりで人生を楽

しむというスタンスなのです。

じつは今回の旅の間にも、私が所属する学会の記念大会が京王プラザホテルで大々的に開催されており、その総会を私がやるようにと役員会で指名をされていたのですが、「その日、日本にいませんから」と大役から逃れることにまんまと成功していたのです。そうやって、徐々に「あいつはやる気がないからダメだ」という雰囲気税理士会内で醸成させて、役職などを振られるのを避けようという戦略なのです。だって役職などに就いたら、サーフトリップに行けなくなってしまうすから。

そして今回、2週間留守にして、実際にどうだったかというところ、じつに見事なくらい何事も起こりませんでした。事前に「電波は届かないよ」とは言われていましたが、船が洋上の島に近づいた時などにはスマホの電波のアンテナが立つことがありますし、陸上のキ

ャンプのある島に上陸してそのWiFiを使わせてもらうこともありましたが、そこそこ業務遂行することも可能だったのです。そんな努力（笑）の甲斐あってか、平日の午前中に羽田着の便で帰国した際に事務所に「これから事務所行けるけど、どう？」と電話をしたところ、「別に来なくても大丈夫じゃないですか？」と言われ、私は拍子抜けしてしまったのです。いやいやいやいや……本当に？ もしかして、これって三行半じゃないですよ？



Akira Saito

川橋 奈生 神奈川
士橋 理奈 士奈川
務事 士事 士事
学計 プロ
医口 波
士波
川波
生波
成波
平波
和波
昭波
和波
出波
身波
京波
東波
支波
部波
所波
所波
経波
営波
管波
理波
人波
法波
療波
グ波
に波
乗波
れる波
か波
？波
http://blog.livedoor.jp/saiaki555/

【近況】海外の日系保険会社でキャリアを捨て、娘は今空港のようなところで働いています。なぜか思いがけず、その心の中へ感動して見に行きました。少し